



編集・発行：日本マラウイ協会 〒106 東京都港区南麻布 5-10-24 第 2 佐野ビル 702 Tel. 03-3447-2181 Fax. 03-3447-2933

# KWACHA



95.4.28 現在為替レート US\$1=MK15.3

Kwacha (クワチャ) はチェワ語で「夜明け」を意味します。

## マラウイ協会総会開催

**平**成 6 年度 (第 13 回) 日本マラウイ協会総会が平成 7 年 5 月 13 日 (土) 午後 3 時から東京・渋谷区広尾の青年海外協力協会 帰国隊員研修所にて開催された。

総会では、平成 6 年度の事業報告、決算承認に続いて、国際協力フェスティバル '95 参加等を盛り込んだ平成 7 年度の事業計画案および予算案審議を行ない、両案とも原案どおり承認された。また、平成 7-8 年度の役員が下記のように決定された。なお、議案書および議事要録は本紙 14 号と共に会員の皆様に送付済みである。

### 平成 7-8 年度日本マラウイ協会役員一覧

名誉会長	ト部敏男	初代マラウイ国大使	
会長	秋山忠正	(社) 協力隊を育てる会 常務理事	
副会長	福永英二	(社) アフリカ協会 理事長	
専務理事	貝塚光宗	(社) 青年海外協力協会 会長	46-1
理事	渥美堅持	東京国際大学教授	
理事	池田憲彦	国際地域間交流センター 理事	
理事	岡田啓一	(財) 日本シルバーボランティアーズ専務理事	
理事	河原昭男	(社) アフリカ開発協会 専務理事	
理事	堀添勝身	(財) ユースワーカー能力開発協会 理事長	
理事	保坂 努	(社) 青年海外協力協会前会長 奈川県議会議員ラオス	42-1
理事	小松建大	松戸市役所	47-1
理事	山村俊之	(社) 青年海外協力協会 理事	47-1
理事	中小原淳	(株) 団建築設計事務所 代表取締役	49-2
理事	藤村傑作	青森県総合社会教育センター	50-4
理事	雀烏田伸介	(株) 地域計画連合 51-1	
理事	小野修司	国際協力事業団 元マラウイ事務所員	52-2
理事	吉田 均	磯村豊水機工 (株) 53-4	
理事	上田秀篤	国際電信電話 (株)	
理事	室伏春彦	警視庁	58-3
理事	進藤寿則	クリエートラボ代表	60-3
理事	河野 進	国際電信電話 (株)	63-1
理事	中川 総	(医) 時正会 佐々総合病院	H3-3
監事	若木きぬ子	ブウエ研究所 (株)	HI-1
監事	松平隆一		63-3

## 国情セミナーと大懇親会開かれる

**日**本マラウイ協会主催のマラウイ国情セミナーと大懇親会が 7 月 8 日 (土)、東京・代々木のオリンピック記念青少年総合センター国際交流館で開催された。

国情セミナーは午後 1 時半から同館の 2 階セミナールームで行われた。まず、冒頭 30 分間ほど当協会の上田理事から新聞記事に基づく近年のマラウイの政治的変遷について概略説明が行われた。

続いて駐日マラウイ国大使の T. I. M. Vareta 氏を講師にお招きし、約 1 時間にわたって、昨年新政権が発足して以来の新施策や最近のマラウイ国内情勢についての講演と質疑応答が行われた。講演の中で大使は、新政権になってから政治的な言動も自由出来るようになったことや、政府が小学校の授業料の全面無料化を行ったこと、文盲率低減のための教室を各地で展開中であることなどを紹介された。

最後に大使は当協会の会員に対し、マラウイに住んだ実体験を日本の人たちに語ることによって、民間レベルの両国のパイプ役になって欲しいと結ばれた。



▲マラウイ国情セミナーの様子

午後 3 時過ぎからは、会場を 1 階のレセプションホールに移し大懇親会が行われた。この懇親会は毎年「シマを食べる会」として東京・広尾の青年海外協力隊事務局食堂で行われていたが、今年は事務局内改装工事により食堂が使用できないため、当ホールにて開催したものを。

会場には国情セミナーの参加者をはじめ、駐日マラウイ国大使ご夫妻、大使館スタッフ並びに御家族のご参加も賜り、参加者は 50 名を超えた。

初めにテープによるマラウイ国歌吹奏のあと、物故隊員に 1 分間の黙祷を行った。続いて秋山会長と大使の挨拶、仲井儀英 JICA マラウイ事務所元所長から寄せられた祝電が披露され、貝塚専務理事の乾杯の音頭で懇親会は始まった。

今年はあらかじめ招待状にてお断りしておいたように、会場の関係でシマを作ることが出来なかったため、お目当ての OB / OG には少し残念だったようであるが、それでももくもくと会う同期の仲間や新旧隊員の輪ができ、話に花が咲いていた。

最後に来年の再会を約して参加者一同で記念撮影を行い、盛会のうちに散会した。



▲大使と一緒に記念撮影

世界のマスコミから

**剣道大会の勝者**

マラウイ Daily Monitor  
1995年2月21日号から抄訳

ムイザ・ムンタリ君とスーザン・モファットさんが2月18日(土)にブランタイア青少年センターで行われた第2回剣道大会で勝者となった。

勝者は2人とも13才で、点数を重ねるために疲れることを知らずに戦った。「この大会で優勝できるとは思っていませんし」とムンタリ君は語り、トロフィーと賞品の包みをもって退場していった。

表彰式にて、約2年前にマラウイに剣道を紹介した日本の国際協力事業団(JICA)マラウイ事務所の木村精一次長は、この剣道クラブはマラウイ国歌スポーツ評議会の要請により新しく指導者を迎える予定であることを明らかにした。さらに木村氏は「このことにより、スポーツ評議会が剣道クラブに対して協力を続けてくれること、そしてクラブが色々な設備を使いたい時に役に立つと感じます。」と語った。

剣道は1992年にJICAの賛助を得て始まったものである。中川、福丸、先崎、和田、西村の各氏が当初の指導者であったが、現在は西村氏のみが運営している。

選手の皆はブランタイアのナベリ地区から練習に来ている。

**前オフィシャルホステス逮捕**

イギリス EIU Country Report No.2, '95  
から抄訳(1995年5月1日)

ジョン・テンボ元国務大臣の姪でバンダ前大統領の長年の伴侶であるセシラ・カザミラ女史が、1983年の閣僚殺人事件の逮捕者リストに最近加えられた。彼女は殺人の共謀容疑で3月31日に自宅軟禁されたが、1週間後に条件付き釈放された。条件は非常に厳しく、彼女がマラウイ国内を旅行するときはいつでもパスポートを警察に提出し、警察官に伴われて旅行しなければならない。また、ブランタイア市の境界を越えて旅行するときにはブランタイア裁判所に申請する義務がある。

「マラウイの母」と自称する約300人の女性達は、テンボ元国務大臣とバンダ前大統領が1月に逮捕された後すぐに、カザミラ女史をバンダ前大統領が自宅軟禁されているムディ・ハウスから離すようムルジ大統領に直訴状を渡した。女性達は、カザミラ女史がオフィシャルホステスとしての役割なら殺人事件において無実であるはずがないとし、バンダ前大統領と一緒にいることは許されるべきではないと述べた。

カザミラ女史の嫌疑が何の証拠に基づくものかはまだはっきりしていない。

**バンダ大統領 出廷に不適**

日本 Japan Times  
1995年5月31日号から抄訳

医師団は5月29日(月)、バンダ前大統領は脳が萎縮し、ほとんど聞こえず、弁論を理解できないと思われるため、1983年の閣僚殺人事件の裁判に出廷することは適さないと述べた。

裁判所の命令によりハンダ氏を診察した3人の医師の1人、南アフリカの精神科医メリル・ボースタは高等裁判所に提出した南アフリカの神経専門医ビクトゥ・プレシスとイギリスの老人病専門医マルコム・ホッドキンソンとの共同報告書の中で、3人ともハンダ氏は老齡すぎて事件の裁判に出廷するのに適さないという意見であると述べた。

29日の公判で再生されたテープの中で、バンダ前大統領は「誰がそんなことを言っている? 私が気違いに見えるか? そうは思わない。私が何をしたか(権力筋は)言っていない。私が誰かを殺したって? 誰を殺したと言うのだ。もしそうなら何故今頃? 今まで(権力筋は)何をしていたのだ。」と述べ、精神的に不適さないとすることを否定した。

ビクトゥ・プレシス医師は裁判所に対し、ハンダ氏はほとんど聞こえず、補聴器は役に立たず、また記憶喪失に陥っているのは明らかだと述べた。

**200クワチャ札発行**

マラウイ Daily Times  
1995年7月10日号から抄訳

マラウイ準備銀行は本日7月10日、200マラウイクワチャ札を発行する。新札の図柄は下の写真のとおり。表面はバキリ・ムルジ大統領の肖像と背景に朝日が昇るマラウイ湖、裏面には象の群が描かれている。使われている主たる色は緑と茶色で、大きさは156mmx78mmである。



表



裏

**教師訓練交換プログラム**

マラウイ Daily Monitor  
1995年7月24日号から抄訳

イギリスに本部を置く新しく設立された非政府開発組織「マラウイ・コンタクト・グループ」は、イギリス連邦教師交換連盟と協力して、新規採用された小学校教師の訓練において文部科学技術省を援助するため、イギリス/マラウイ教師交換プログラムを創設した。

プログラムには、95年8月からマラウイ国内5つの教師訓練学校で行われる小学校教師訓練に参画するためマラウイにやってくる7人のイギリス出身の熟練した講師がかかわっている。

訓練が95年9月に終わった後、イギリス人講師は6人のマラウイ人講師とともにイギリスに渡り、そこでマラウイ人講師は様々な学校やカレッジで経験を積む。

マラウイ・コンタクト・グループは、文部科学技術省による講師派遣の要請の結果として、このプロジェクトの基金を創設した。

約2500人の準プロ教師がこの教師交換プログラムの恩恵を受ける。

**日本、1億2670万クワチャ供与**

マラウイ Daily Monitor  
1995年7月27日号から抄訳

日本政府は7月25日(火)、マラウイ政府に対し債務救済と食料増産のための総額1億2670万クワチャ(7億2850万円)の供与を実施した。

交換公文の署名はゾンバの大学事務局で、マラウイ側がアレカ・ハンダ大蔵大臣と日本側は増井大使によって行われた。

大蔵大臣は、債務救済供与の3億2850万円は不当に人命を失うことになっている各医療センターの救急車不足を緩和するという見地から、救急車を含む車両の購入に当て、4億円の食料増産資金は地方の小自作農のために尿素のような肥料や農業化学薬品を購入するために使うと語った。

また大蔵大臣は、マラウイ国民の多数は地方に住み、農業で生計を立てていることから、農作物の増産がない限りこの国の真の社会・経済開発はあり得ないと述べた。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

アンケート協力をお願い

当協会では、今後の活動について皆様からご意見をいただくためアンケートを実施します。同封のはがきにご記入のうえ、10月10日までにポストに投函下さいますようお願いいたします。

## マラウイ剣道基金 ご協力御礼

本紙第 13 号に掲載した「マラウイの子供達に竹刀を送ろう運動」に大勢の皆様からご協力を頂き、本当に感謝しております。おかげさまで皆様からいただいた募金総額は 544,000 円 (その他竹刀 13 本) となりました。

このお金でカーボン竹刀、剣道用品、縄跳び、玩具等を購入し、平成 7 年度 1 次隊の秦志伸 (はたしのぶ) 隊員 (体育、ブランチア剣道クラブ指導員) に任国で使っていただくように手渡し、今後の剣道クラブの運営等をお願いしてきました。

将来、さらにマラウイ国内で剣道を通じて日本人とマラウイアンの交流の輪が広がることを祈っている次第です。

皆様の心からのご協力ありがとうございました。この紙面を借りまして、お礼状のかわりとさせていただきます。

平成 7 年 9 月「マラウイ剣道基金」代表 中川 総  
(平成 3 年度 3 次隊 栄養士)

## 特集 東京で味わえるアフリカ料理の店

### ■ RosedeSahara (ローズ・ド・サハラ)

サハラ (砂漠) の薔薇という鉱物 (宝石) が店の名。一般的なアフリカ各地の料理を始め、ワニ、カンガルー肉料理まである。人気が高くいつも盛況なので予約してから行く方がよい。

**新宿南口店** 渋谷区代々木 2-10-10 東京プラザビル 2 階、TEL03-3379-6427、JR 新宿駅・新宿口または南口より甲州街道を西へ徒歩 5 分。日曜休、但し連休となる場合は変更あり。

17:00 ~ 23:30 オーダーストップ

**四谷店** 新宿区四谷 1-7-27、TEL03-3358-0801、JR 四谷駅四谷口徒歩 5 分。しんみち通り

**新宿アイランド店** 新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランド パティオ・地下 1 階スパイスロード、TEL 03-5323-4210、JR 新宿駅西口より徒歩 10 分、音梅街道・新宿警察署隣

### ■ QueenSheba (クイーン・シバ)

「シバの女王」が店名。TV 等で取り上げられる評判のエチオピア料理の店。目黒区東山 1-3-1 ネオアージュ中目黒 B1F、TEL03-3794-1801、東急・地下鉄中目黒駅北口より徒歩 8 分、山手通り。定休日なし。17:00 ~ 23:00

### ■ PorePoreClub (ポレポレ・クラブ)

スワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意味。ケニア料理が中心。渋谷区渋谷 2-7-13、TEL03-3498-9909、3486-2820、JR 渋谷駅東口より徒歩 10 分。第 1、3、5 土・日祝休。11:30 ~ 14:00、14:30 ~ 17:00 (ティータイム)、18:00 ~ 22:00

### ■クス クス

**Part I** 渋谷区高田馬場 13-12、TEL03-3368-3022、JR 高田馬場駅より徒歩。月曜休。17:00 ~ 23:00

**Part II** 渋谷区桜ヶ丘 28-3 恒和ビル 1F、TEL 03-3462-6588、JR 渋谷駅南口より徒歩 5 分。日曜休、月~金 11:30 ~ 14:00、月~土 17:30 ~ 23:30

### ■カルタゴ

チュニジア、アルジェリア等の北アフリカ・アラブ料理が中心。中野区中野 3-34-3、TEL03-3384-9324、JR 中野駅北口より徒歩 10 分。水曜休、12:00 ~ 14:00、18:00 ~ 22:00

### ■ PigaPiga (ピガ・ピガ)

アフリカ各国の駐日外交官などがよくやって来るところ。食事だけでなく酒持と酒の肴も楽しめる。ライブ演奏もあり、ときとしてディスコとなることも。渋谷区恵比寿南 1-8-16 マイタウン・ビル B2F、TEL 03-3715-3431、JR 恵比寿駅西口より徒歩 5 分。日祝休。18:00 ~ 01:00

### ■ Baobabu (バオバブ)

アフリカ各地や東南アジアに生い茂る樹木 (大木) の名前。台東区谷中 2-18-6、TEL 03-5685-6648、地下鉄千代田線千駄木駅より徒歩 3 分

### ■オスン・ガーナハウス

ガーナ料理店。渋谷区神南 1-20-17 川津ビル B1F、TEL 03-3463-4734、JR 渋谷駅より徒歩。日祝休。18:00 ~ 24:00

### ■ Gyenyame Ghana Restaurant (ジャニャメ ガーナレストラン)

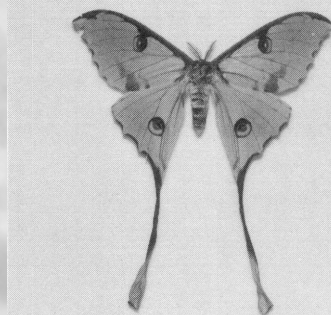
ジャニャメはアシャンテ語で「全能の神」。元ガーナ・プロサッカー選手が経営するガーナ料理店、北区中里 1-3-1 菅沼ビル 1F、TEL03-5814-2721、JR 駒込駅東口下車。無休。16:30 (土日 15:00) ~ 23:00 (22:30 オーダーストップ)

### ■ Jungle (ジャングル)

ピンクガレージハウスで目につく店。アフリカンムードのオープンテラスあり。港区南麻布 2-5-3、TEL03-3797-1949、外苑西通り沿い、地下鉄広尾駅、六本木駅、乃木坂駅下車。無休。11:00 ~ 17:00 (ランチ)、17:00 ~ 05:00 (ディナー、04:00 オーダーストップ)

## マラウイの生き物たち

昭和 63 年度 3 次隊 松平隆一  
今回はマラウイの蝶・蛾を紹介します。



ミモザオナガマユ (Argema mimosae) 見事なまでに長い尾を持つ黄緑色のヤママユガ。産地はアフリカ南東部で写真のものはマラウイ、ゾンバ産で触角から尾の先端までの長さは約 20cm。本種は moon mouth と呼ばれ月夜に飛行する様はまさに幻想的。



キタエロンフタオナヨウ (Charaxes cithaeron) アフリカ南東部に分布するフタオチョウの一種。樹液に集まる。アフリカ産フタオチョウは種類も多く美しい。写真はゾンバ産キタエロンニアサエのオスで約 10cm の大きさ。

## マラウイの近況

平成 5 年度 2 次隊 薬剤師 深谷典子

マラウイ OB/OG 隊員の皆さん、こんにちは! 私はプランタイアのセントラル・メディカル・ストアに派遣されている薬剤師隊員です。マラウイの近況についてレポートします。皆様にマラウイの楽しかった生活を思い出していただければ幸いです。

なにもかもがイライラするほどにゆっくりと流れていくマラウイですので、皆さんの頃と比べてそれ程大きな変化があったとは考えにくいのですが、物価にだけは見事に反映されているようです。1994 年 2 月に為替制度が固定相場制から変動相場制に移行し、あれよあれよという間にマラウイ・クワチャの価値は下がっていきましました。私がマラウイに到着した 1993 年 12 月、銀行の正規レートは US \$1 = MK4.3 でした。

それが今では US \$1 = MK14.95 ぐらいで安定しています。最近では民間の Bureau de Change も次々開業し、こちらの方が少々レートも良いようです。Kwacha devalue への対応が最も早かったのがエア・マラウイでした。

変化が一番分かり易いと思うのでいろいろの物の値段を挙げてみましょう。プランタイア〜リロングウェ間のコーチラインは MK195.00、プランタイア〜リンベ間のミニバスおよびステージコーチは MK3.00、フリージス MK0.30、道端でほりにまみれて売っているチップスは一人分 MK2.00 です。ブルーリボンのパン一斤 MK6.90、コカコーラ 1 本 MK2.60 (ピン代含まず、ピン代は MK2.00)、砂糖 1kg が MK6.50、トマト (大) 3 個 MK8.00! です。私はスパゲティが大好きなのですが 500g 入り MK30.95、高くなりました。クワチャが安定している最近はそうでもありませんが、昨年の 9〜11 月頃は PTC、KANDODO とも「棚卸し」と称して店を閉め、翌日行ってみると値段が倍になっていた、なんて事もよくありました。公共料金も値上がりし、今月 1 月より日本への国際電話料金は 1 分間 US \$3.00、航空郵便は封書で MK2.00 からです。私事ですが、わがセントラル・メディカル・ストアのカatalogにおける薬の値段もこの 4 月よりすべて US \$ 表示となりました。

政府は公務員の給料を今年 1 月に一律 25% アップしましたが、とても物価の上昇には追いついていません。彼らの主食であるメイズの値段もこの 6 月に MK90.00/50kg に上がり、彼らの生活がさらに苦しくなったことは言うまでもありません。物価上昇により治安も悪くなりつつあり、泥棒騒ぎも頻発しています。隊員が被害に会うケースも増えました。

1994 年 5 月 17 日、マラウイ初の大統領選挙が行われ、バキリ・ムルジ氏率いる UDF が既成政党の MCP (党首: カムズ・バンダ氏)、新政党の AFORD (党首: チャクワフ・チハナ氏) を押さえて第一党となり、ムルジ氏が新大統領に就任しました。政府は教育改革の一貫としてプライマリ・スクールの授業料をタダにしましたが、生徒が集まりすぎて先生が足りなくなるなどの弊害も出ているようで、なかなかうまく行きません。経済状態も一向に良くなり、人々の間にも不満がたまっているようです。特に国家予算不足深刻です。成す術もないといった感じ。ムルジ氏の腕が試されるどころですが、さてどうなるでしょうか……。

新政権になって変わったことと言えば、政治について自由に討論できるようになったことではないでしょうか。新聞は値上がりして一部 MK3.50 と高くなりましたが、それぞれ好きなことを言っています。いま発行されているのは 13 紙ほど、Daily Times、Nation、Monitor、Enquiry、UDF Paper、Malawi News、Tribune、Democrat、Independent、Statesman、Malawian、Michilu Sun、City Star など。職場でも UDF がどうの MCP がどうのと暇さえあれば話しています。今まで押さえつけられていた反動でしょうか、デモ行進も繰り広げられています。特に 1983 年の閣僚殺人事件でバンダ前大統領、ジョン・テンポ元国務大臣、元警察幹部が逮捕された時など、騒ぎに乗じてプランタイアの MCP 事務所が襲撃され、燃やされてしまいました。これも時代の流れか……感慨深いものがあります。現在バンダ前大統領は自宅軟禁中、ジョン・テンポ元国務大臣と元警察幹部は拘留所に入れられており、高等裁判所での公判が行われているところですが、どう判決が下されるかわかりませんが興味深い事柄です。

私たちが赴任する少し前に女性の服装への制限がなくなり、人々のファッ

ションにも変化が出てきました。まだ大半の人がロングスカートやチテンジに身を包んでいますが、時折パンツをはいている人も見かけるようになりました。ミニスカートももちろん OK で、男性にとっては良い目の保養になっているのではないかと思います。ヘア・スタイルも多様化し、パーマをかけてストレートにしたり、つけ毛を編み込んでラスターヘアにしたり、余裕のある人はお化粧したりアクセサリーをつけたりと、楽しんでいるようです。

政権交代を機に表向きはいろいろ変わったなと思いますが、人々の生活に変化はありません。シマを食べ、チキンを好み、マッシュルームハウスに慎ましく住み、親城で固めた Village を形成する。きつと 20 年後に再びマラウイを訪れても何も変わっていないんじゃないか……。赴任 1 年半たった今、そんなことを思いつつ毎日目まぐるしく変化しているであろうわが祖国日本と比べて、果たして人間にとってどちらが幸せなのだろうか、と考えるこの頃です。

1995 年 7 月 6 日

### ■ 訃報 ■

当協会会員で、青年海外協力隊マラウイ OB (63/1 自動車整備・サリマ、UNV カンボジア等) の原敬一さん (33 歳) が、9 月 7 日午前 9 時 25 分に逝去されました。7 月末より、くも膜下出血のため、埼玉県朝霞市内の病院にて療養中で、一時は回復の方向へと向かい一同安心していただけ先でしたが、ご家族、マラウイ OB・OG 等の見守る中、患を引き取られました。

## Information Corner

### ■ 国際協力フェスティバル '95 について

国際協力フェスティバル '95 が下記のとおり開催されます。日本マラウイ協会は今年も出展しますので、どうぞお越し下さい。

日時: 9 月 30 日 (土) 10:00 ~ 17:00

10 月 1 日 (日) 10:00 ~ 16:00

場所: 東京・日比谷公園

### ■ 雑誌掲載のお知らせ

小学館の雑誌、別冊ビーパル「ラピタ」95 年秋号 (10 月 1 日発売) にマラウイの紹介記事が掲載されます。どうぞお買い求めください。(1,000 円)

### ■ 入会のおすすめ

日本マラウイ協会 (Malawi Society of Japan) は日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体です。趣旨をご理解の上、広く各位の入会を希望します。電話をいただければ入会申込書をお送りしますので、各項記入の上ご返送ください。また、入会金と年会費の合計 (個人正会員の場合 1,000 円 + 3,000 円 = 4,000 円) を下記の銀行口座または郵便振替口座へお送りください。(郵便振替口座が安くて便利です。)

〒106 東京都港区南麻布 5-10-24 第 2 佐野ビル 702

日本マラウイ協会

TEL03-3447-2181 FAX03-3447-2933

三和銀行 東恵比寿支店 普通口座 255739

口座名義人 日本マラウイ協会名誉会長 卜部敏男

郵便振替 00190-7-13125 (旧用紙 東京 9-13125)

加入者名 日本マラウイ協会

また、協会規約その他についても上記宛お問い合わせください。